



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和5年(2023年)6月30日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

地域の中で育つ学び舎

校長 内田 辰彦

毎朝、西門の前を大勢の人が通っていきます。歩いている人も、自転車に乗っている人もいます。みなさん、学校の前を通るときに、おはようございます、いってらっしゃい、と挨拶を交わしていきます。登校してくる子供たちも元気に「おはようございます。」と挨拶をして登校してきます。西門の前には春光保育園があるので、保育園に登園してくる子供たちや保護者の方とも挨拶を交わします。二中に通う生徒のみなさんとも挨拶を交わします。朝の短い時間の中ですが西門の前は地域の方が挨拶を交わせる素敵な場所になっていると感じます。そして、そういった姿は子供たちの元気な挨拶に結びついていると考えます。

6月27日には、2年生が2回目のひまわりプロジェクトをするために学校のすぐ近くにある中央郵政研修センターに行きました。この「ひまわりプロジェクト」は地域の方と中央郵政研修センターの方が協同して、センター内の敷地でひまわりを育てる取組です。二小の子供たちも2年生が参加させていただいています。1回目にまいた種が大きくなってきましたが、これから更に大きくしていくための間引き作業を行いました。ひまわりプロジェクトの方から、間引きの方法を教えていただき、作業を進めました。研修センターの南側に植えてあるので、これから夏に向けて大きく育った様子をフェンス越しに見られるようになって期待しています。研修センターの敷地はとても広く、ひまわりだけでなく、野菜や果物も育てています、バッタなどの昆虫もたくさんいます。豊かな自然と優しい指導で充実した時間を過ごすことができました。

7月には、4年ぶりに学校で七夕飾りを行います。これまでも地域の方から大きい竹を譲っていただいて実施していましたが、コロナの関係でしばらく実施できませんでしたが、今年は全校で七夕飾りを楽しめるように計画しています。

夏休みになると二小では、地域の方が講師になって様々な講座が開かれます。「二小クラブ」です。今年は27の講座が開かれます。ダンス、歴史もの、シアターゲーム、宝箱、マジック、折り紙、モビール工作、コーラス、食育、人形劇、詩吟、プログラミング、くにたちカルタ、けん玉、カップス、副籍交流体験、染め物、ロケット、ハワイアンリボンなどなど、どれも魅力的な講座が開設されます。

プール跡の校庭設置工事も順調に進んでいます。すでに新しい鉄棒や登り棒などの遊具も設置されました。早ければ1学期中に新しい校庭が使えるようになるかもしれません。その校庭では夏休みに地域の夏祭りも計画されています。

地域の方からのたくさんの支援で、二小の子供たち豊かな学びや体験が成り立っていることを実感しています。先日も地域（保護者）の方から次のような連絡がありました。登校途中の児童が落とし物に気付き、その近くにいらした保護者の方に落とし物を渡したそうです。そのときの礼儀正しい態度が立派でした、というご連絡でした。よいことも、あるいは課題についても地域の中で伝えて

いただき、その中で子供たちは育っていくことが大切だと考えます。

